

# CimFAX FAX サーバ 取扱説明書

## 品番

A5 B5 C5 C5S  
(単線版 14.4kbps)



H5 H5S  
(単線版 33.6kbps)



T5 T5S W5 W5S  
(双線版 33.6kbps)



この度は、Cimsun Tech 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- こちらの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に「安全について、」を必ずお読みください。
- こちらの取扱説明書は、何時でも設定を確認できるように身近の所に保存してください。

[Faxgo] ・ [Cimsun] ・ [CimFAX]は Cimsun Technology Co.,Ltd.の登録商標です。

本書に記載されている他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

公式サイト： [www.cimfax.com](http://www.cimfax.com)

## 安全について

### 警告：

- 本商品に水をかけていたり、濡れた手で操作していたりすることをお控えください。電源プラグ、LANケーブルなどの配線について、頻繁な抜き差し行為をお控えください。火災・感電の原因となる恐れがございます。
- 万が一、本商品に水などの液体が入った場合は、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いて、弊社のサービス部にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となる恐れがございます。
- 本商品は下記の場所に置かないでください。落としたりして怪我の原因となる恐れがございます。
  - ・ぐらついた台や傾いた所など、不安定な場所
  - ・振動、衝撃の多い場所
- 過熱防止：キャビネットの通風孔は塞がないでください。また、暖房設備や、熱器具に近づけないでください。故障の原因となる恐れがございます。
- 電源アダプターは必ず専用品を使用して、それ以外の物の使用はお控えください。火災・感電や故障の原因となる恐れがございます。
- 湿度の高いところでは設備の取り付け及び使用はお控えください。感電の原因となる恐れがございます。

**ご注意：**

- ラベルに指定された電圧を利用してください。使用している電圧が確定できない場合は、販売店或は当地の電力部門にお問い合わせください。
- 本設備の電源プラグは三眼コンセントです。アースを取り付けることをご確認ください。（アースは安全の保障です。アースを取り付けないコンセントを使用すると、妨害、感電、怪我をする恐れがございます）

**メンテナンス：**

本商品が故障する場合はご自身で修理しないでください。不正確な方法で分解すると、感電或いは他の危険を引き起こす恐れがございます。質問、不明などが生じる場合は弊社の専門技術者にご連絡ください。

メール：[jp@cimfax.com](mailto:jp@cimfax.com)

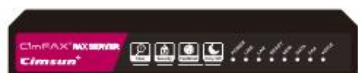
# 目次

■開梱し付属品を確認する	1
■各部の名称とはたらきを確認する	2
■ソフトウェアのインストールステップ	6
1、FAX の送信	9
1.1 電話番号の入力法とは	8
1.2 パソコン・タブレット PC 端末の送信	10
1.3 スマホ端末 (FaxGo™) の送信、	12
.....	12
2、FAX の受信	13
2.1 パソコン・タブレット PC 端末の受信	13
2.2 スマホ端末 (FaxGo™) の受信	14
3、様々な機能	15
3.1 FAX をメールに転送	15
3.2 アドレス帳の作り方と共有	16
3.3 指定される時間帯に送信する	20
3.4 初期化に戻す	21
3.5 共有フォルダーに自動的に保存	23
3.6 外出先で FAX 受送信	25
3.7 音声案内	26
3.8 バインディング	27
3.9 FAX 履歴	29
3.10 FAX の内線番号	30
3.11 FAX に備考	31
3.12 FAX の解像度	32
3.13 電子印鑑	33
3.14 PDF だけ FAX できない解決案	35
3.15 「FAX の詳細設定」について	37
4、ファックスモード	41
4.1 自動受信モード	41
4.2 手動受信モード (電話機との併用)	42
.....	43
.....	43

## ■開梱し付属品を確認する

梱包箱を開けて付属品が全て揃っているか、外面に損傷はないかご確認ください。万が一不良品

及びその他お気づきの点がございましたら、直ちにjp@cimfax.comにご連絡ください。



FAXサーバ



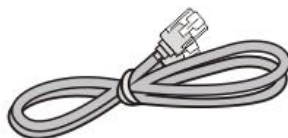
CD-ROM



クイック  
インストラクションガイド



電源アダプター



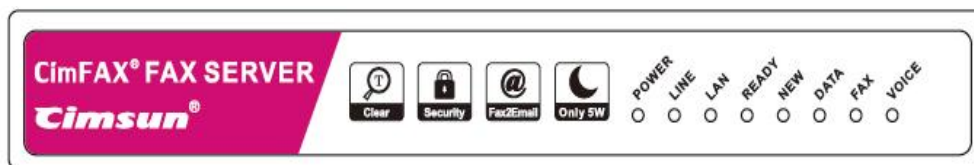
Ethernet ケーブル



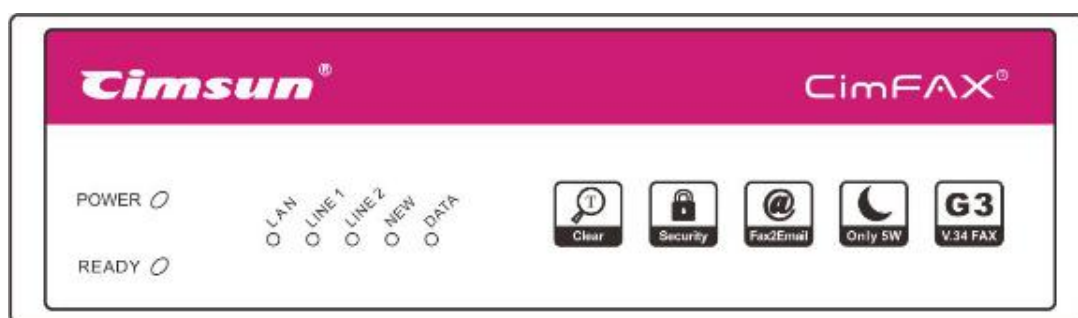
電話線

## ■各部の名称とはたらきを確認する

前面図



(A5/B5/C5/C5S)



(H5/H5S/T5/T5S/W5/W5S)

ランプ	状態	説明
POWER	点灯	通電中
	消灯	電源を切る時
LINE	点灯/点滅	電話回線と接続中
	消灯	電話回線との接続を不可にする時/オフフックの状態
LAN /LAN1 /LAN2	点灯	ネットワークに接続出来た時
	点滅	データが流れている時
	消灯	ネットワークに接続できない時
READY	点灯	サーバが作動中
	点滅	サーバが起動中
	消灯	障害中
NEW	点滅	新着信がある
DATA	点灯/点滅	データの読み込み（電源を切らないでください。データを喪失する恐れがある）
FAX	点灯/点滅	受送信している
VOICE	点灯	音声案内が流れている

### その他：

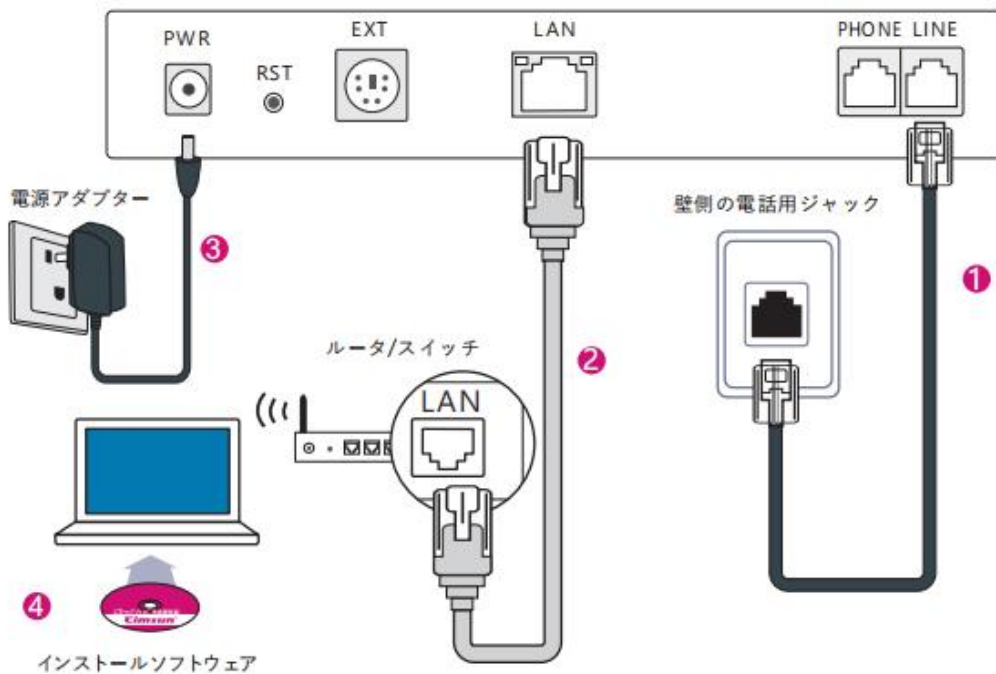
LAN2 は双線版のみ有効です。

READY から VOICE までランプが順番に点滅している：サーバが更新中

サーバから「ビー」と音がる：三秒ごとに短音一回を発する（電話線が正しく接続しない場合）

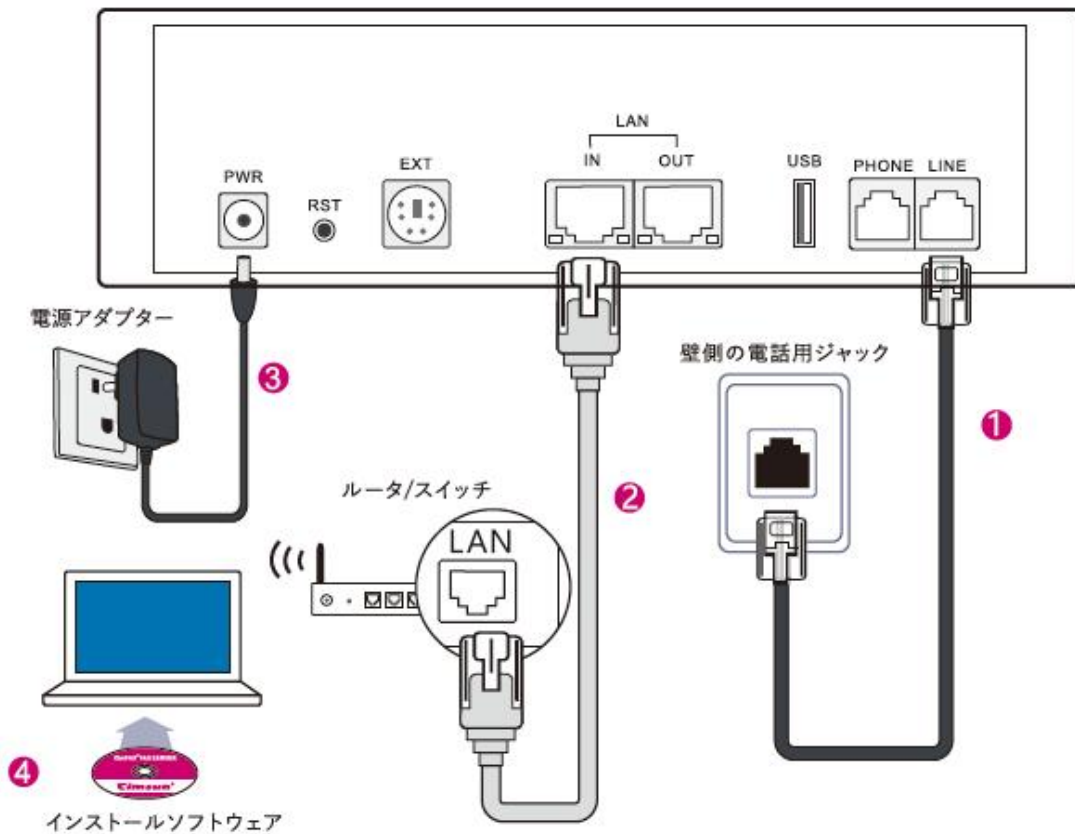
長音一回、短音二回を連続して発する（サーバの故障する場合）

背面図と接続図 (A5 B5 C5 C5S)



ポート	説明
PWR	電源アダプターを接続する
RST	リセットボタン
EXT	予備機能
LAN	ルーターの Lan にアクセス
LINE	電話回線を繋ぐ
PHONE	電話回線で他の電話機/FAX 機と繋ぐ

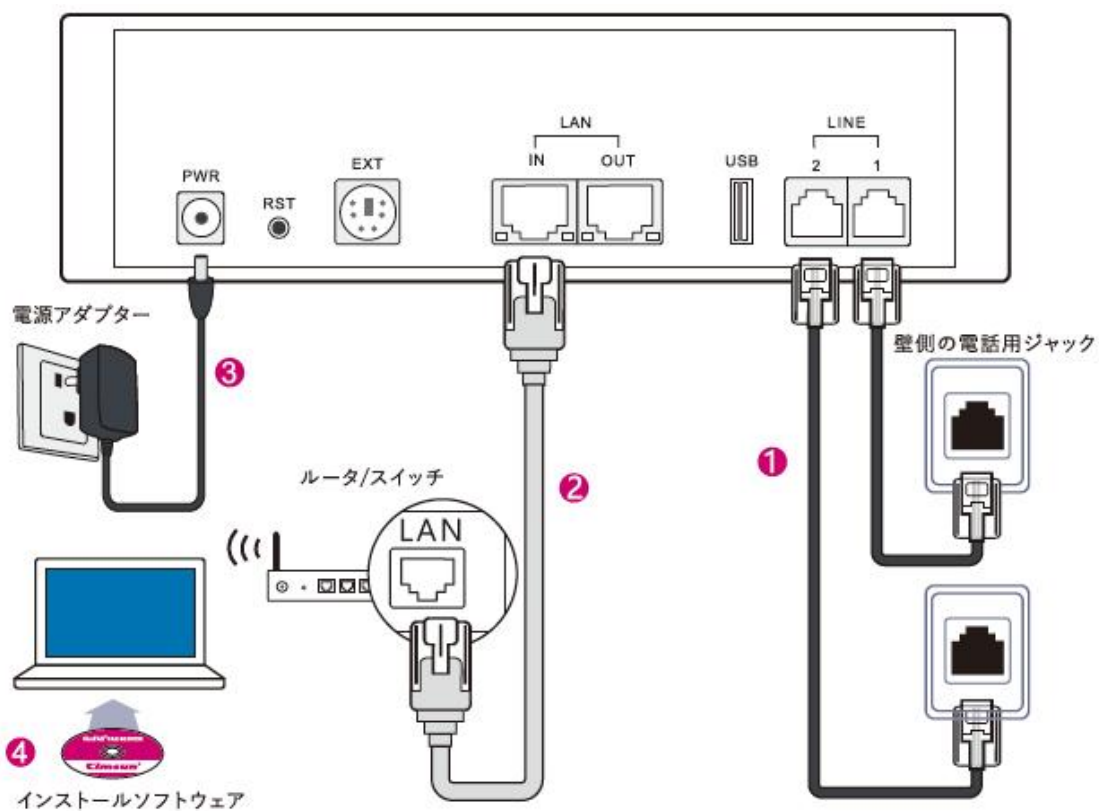
背面図と接続図 (H5/H5S)



ポート	説明
PWR	電源アダプターを接続する
RST	リセットボタン
EXT	予備機能
LAN-IN	Lan にアクセス
LAN-OUT	他のネットワークデバイス (PC など) を接続する
USB	予備機能
LINE	電話回線を繋ぐ
PHONE	電話回線で他の電話機/FAX 機と繋ぐ



背面図と接続図 (T5/T5S/W5/W5S)



ポート	説明
PWR	電源アダプターを接続する
RST	リセットボタン
EXT	予備機能
LAN-IN	Lan にアクセス
LAN-OUT	他のネットワークデバイス (PC など) を接続する
USB	予備機能
LINE1	電話回線を繋ぐ
LINE2	電話回線を繋ぐ

## ■ソフトウェアのインストールステップ

1.

CD-ROMドライブがなかった場合、公式サイトでソフトをダウンロードしてください。

CimFAX公式サイトダウンロードセンターで最新バージョンをダウンロードすることができます。

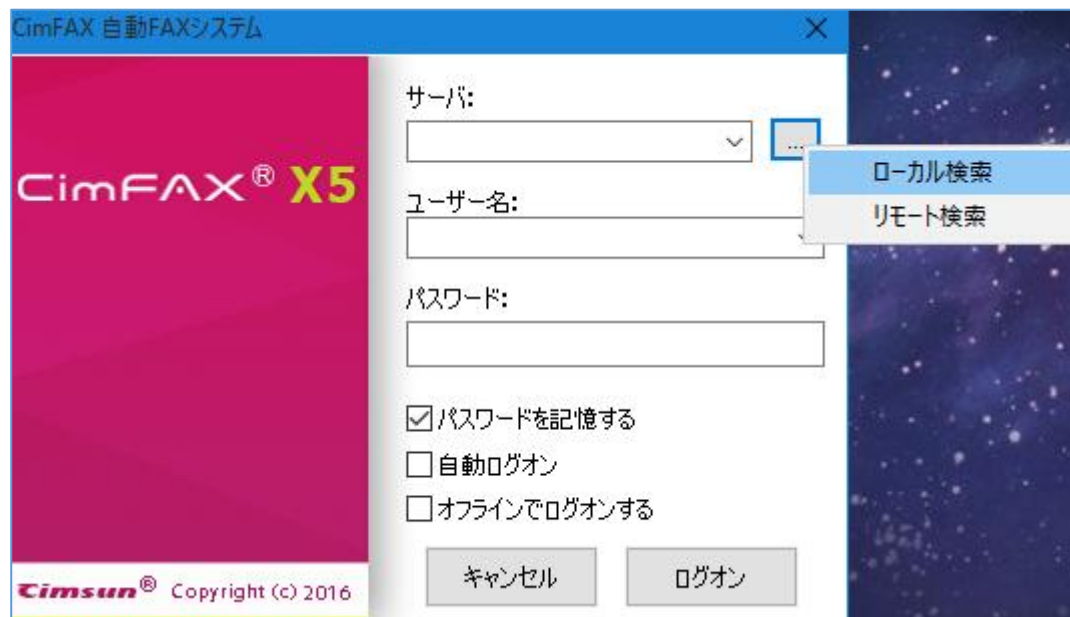
2.

CimFAXソフトのインストールを完了後、パソコンが起動する際にCimFAXソフトは自動起動します。起動していない場合はデスクトップの[CimFAX]アイコンをクリックしてください。

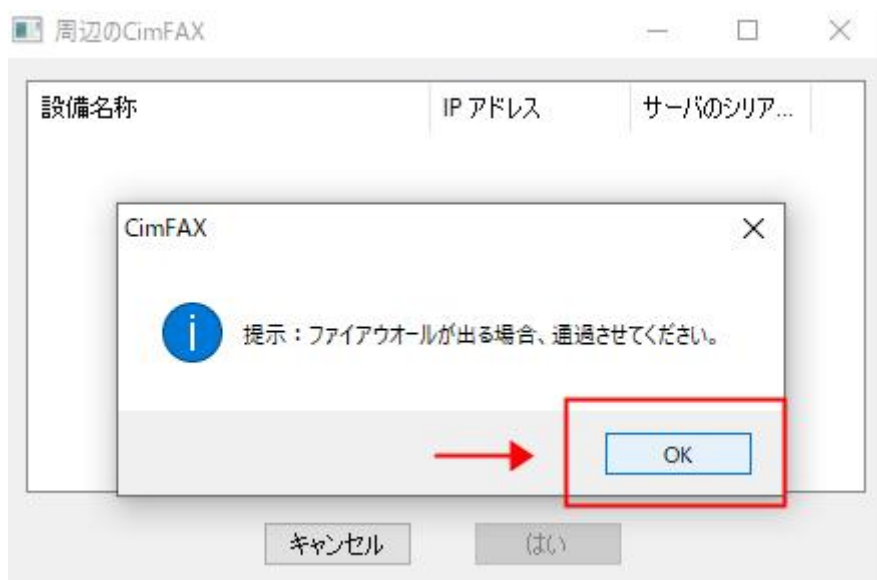


3.

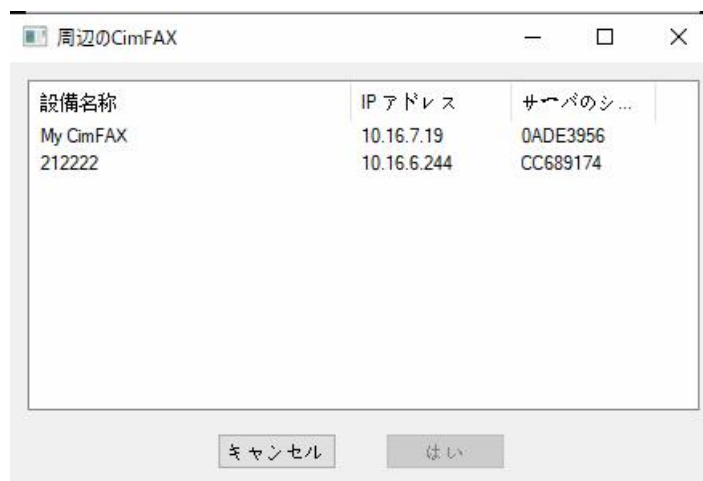
はじめてログオンする場合は、ログオン画面の「ローカル検索」をクリックして設備を選択してください。



「ファイアウォールが出る場合、通過させてください」というメッセージが表示されてから、「OK」をクリックします。



「周辺のCimFAX」に表示されているCimFAX設備を選択して、「はい」をクリックします。

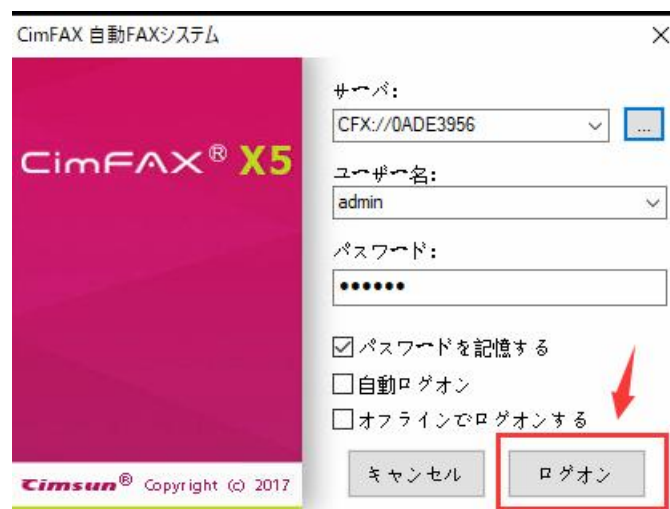


4.

下記ユーザー名とパスワードを入力して、「ログオン」をクリックします。

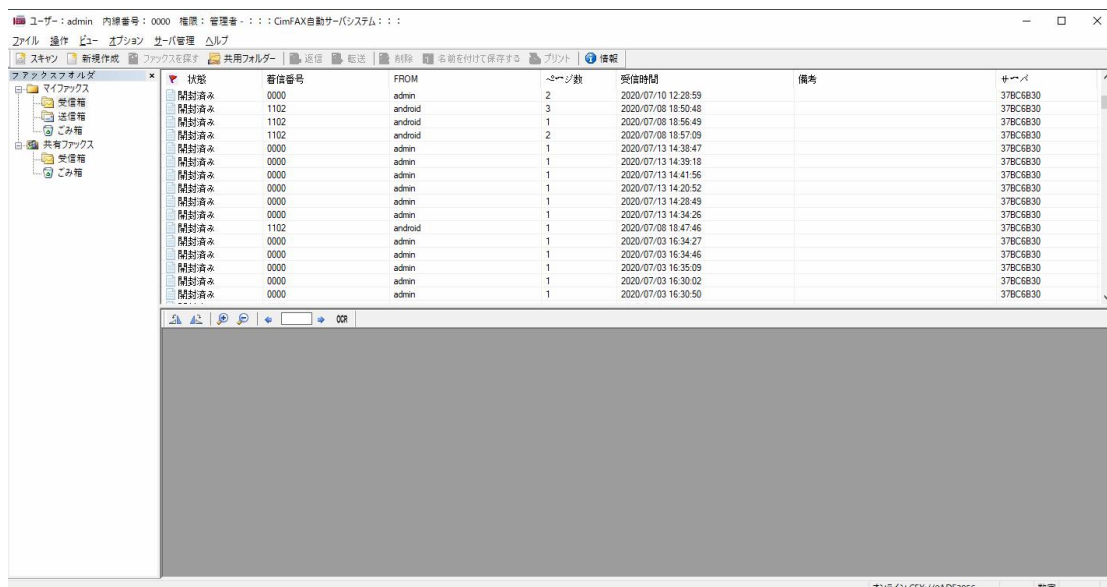
初期ユーザー名 : admin (注意 : 大文字・小文字を区別)

初期パスワード : admin (注意 : 大文字・小文字を区別)



5.

ログオンすると、CimFAX ソフトの操作画面が表示されます。



# 1、FAXの送信

本節ではサーバの基本機能—送信について説明致します

## 1.1 電話番号の入力法とは

「1」で直接受信者の電話番号を入力できます。

「2」にて、複数の受信者を選ぶことができます。

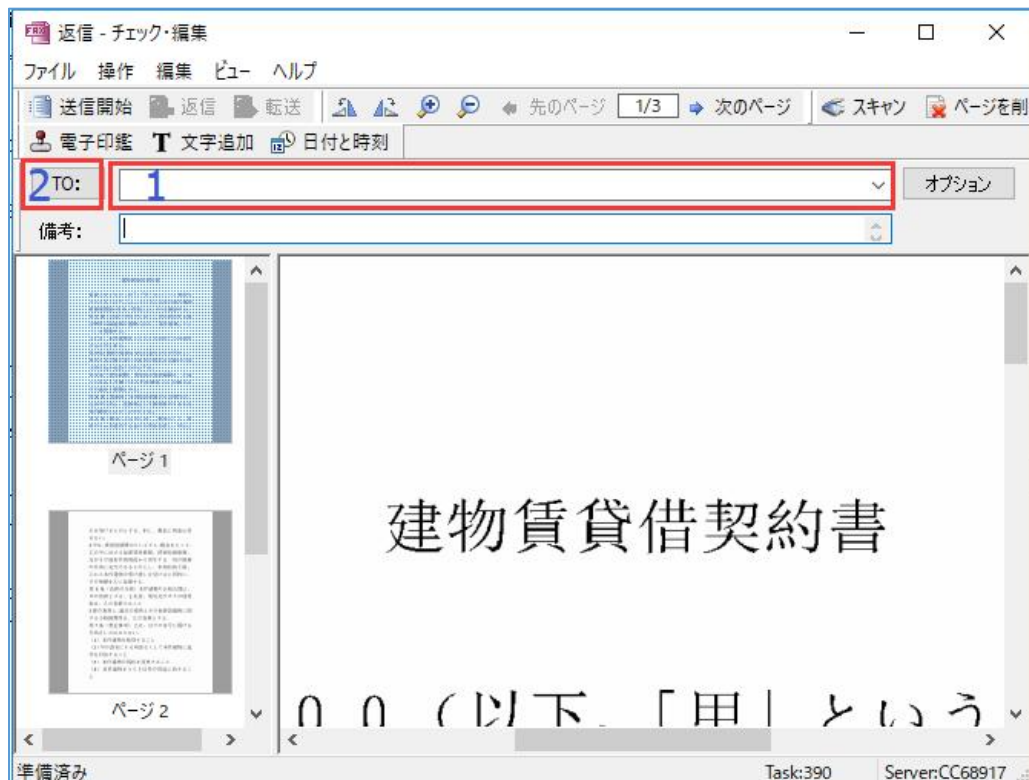
電話番号の間に「;」を入力してください。例えば02085566891 ; 02085566892 ;

02085566893 ;

内線番号がある場合、右側の形でご利用ください。02085566891-607 ;

また、受信者の名前連れの形を利用できます。

例えば張さん<02083598617> ; 李さん<02085566893> ;



## 1.2 パソコン・タブレット PC 端末の送信

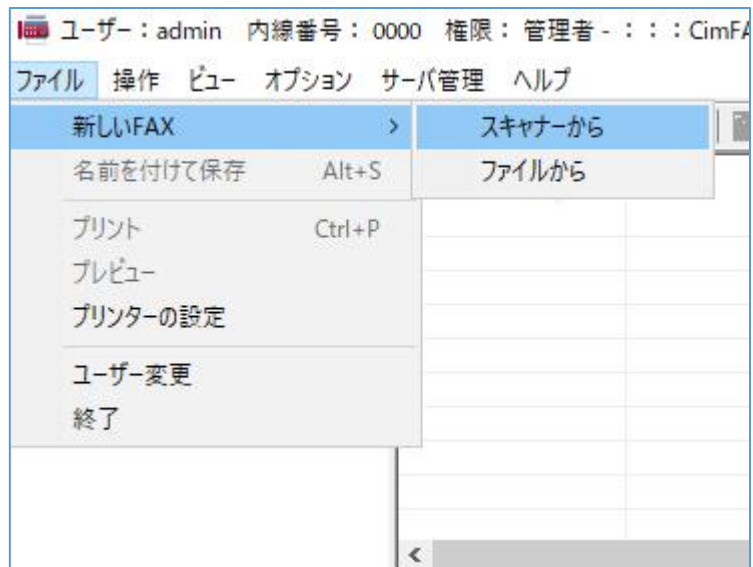
クリックして送信（Windows のみ）



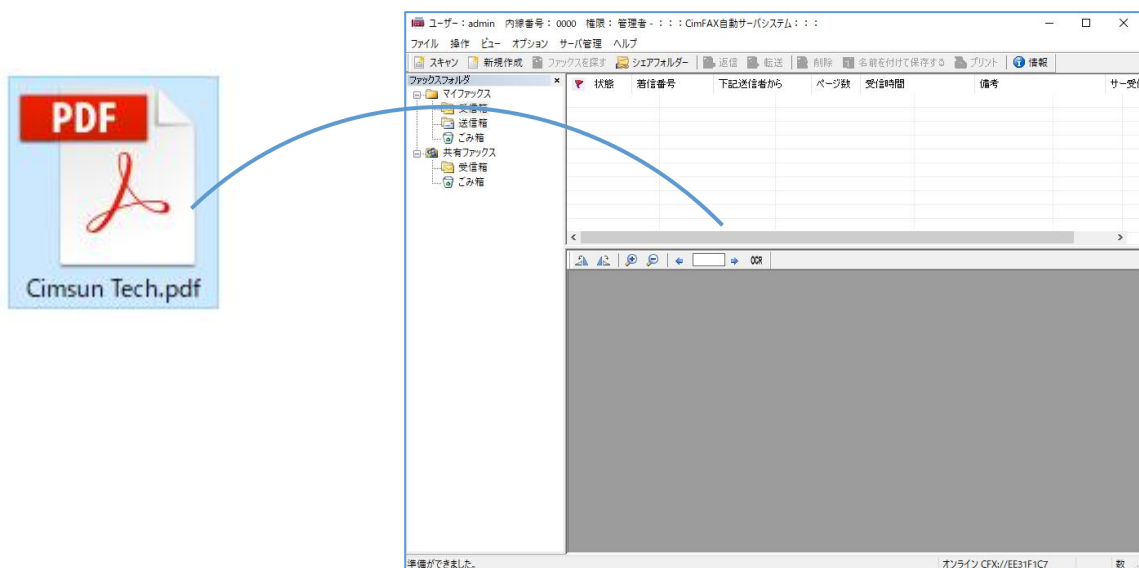
印刷してから送信（Windows のみ）



スキャンしてから送信 (Windows/MAC)



ドラッグして送信 (MAC のみ)



### 1.3 スマホ端末 (FaxGo<sup>™</sup>) の送信、

写真を撮ってから送信

電子ファイルを直接送信





## 2、FAXの受信

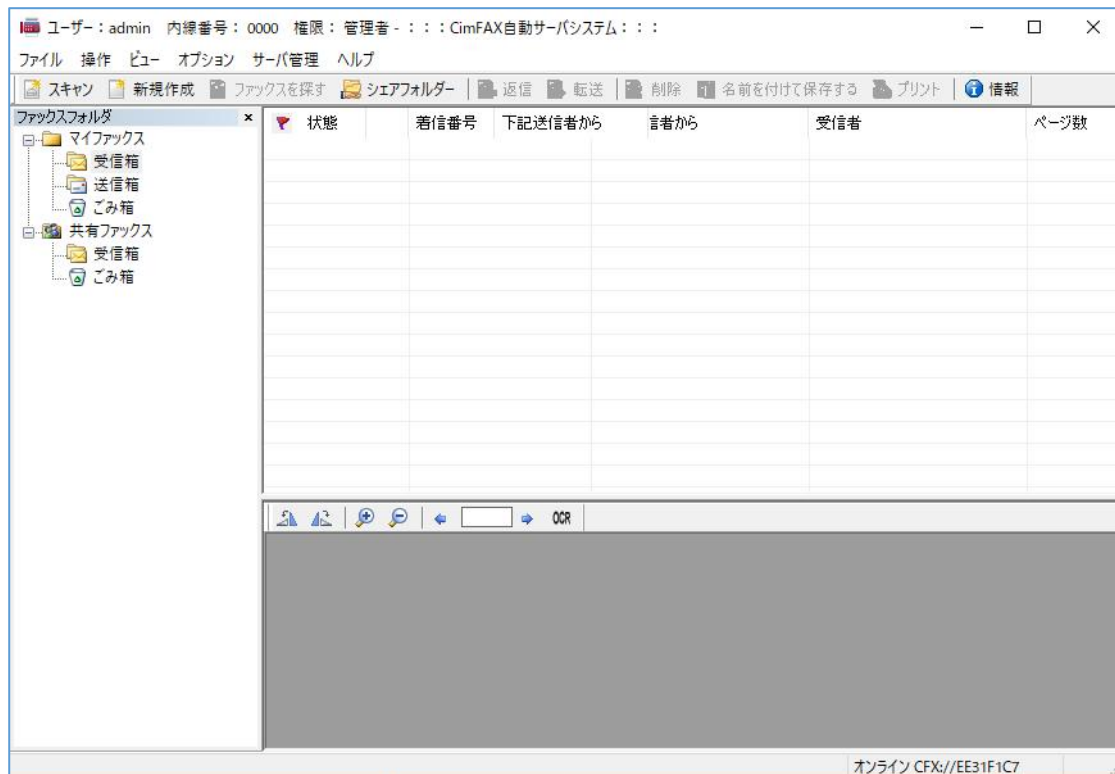
本節ではサーバの基本機能—受信について説明致します

### 2.1 パソコン・タブレット PC 端末の受信

新着信が来る際に、画面の右下にポップアップの提示があります。



ポップアップの提示をクリックすると、自動で受信箱に移動して、ファックスを確認します。



## 2.2 スマホ端末 (FaxGo™) の受信



## 3、様々な機能

本節ではサーバの基本機能—受信について説明致します

### 3.1 FAX をメールに転送

CD-ROM の「メール転送の設定について」を開いて、設定方法通りに設定します。



CD-ROM がなかった場合は、CimFAX 公式サイト ([https://www.cimfax.com/service\\_ts.asp](https://www.cimfax.com/service_ts.asp)) で設定方法をダウンロードして、確認することもできます。

メール転送の設定について (Outlook)

メール転送の手順 - Outlook - Windows.pdf

メール転送の手順 - Outlook - Mac.pdf

## 3.2 アドレス帳の作り方と共有

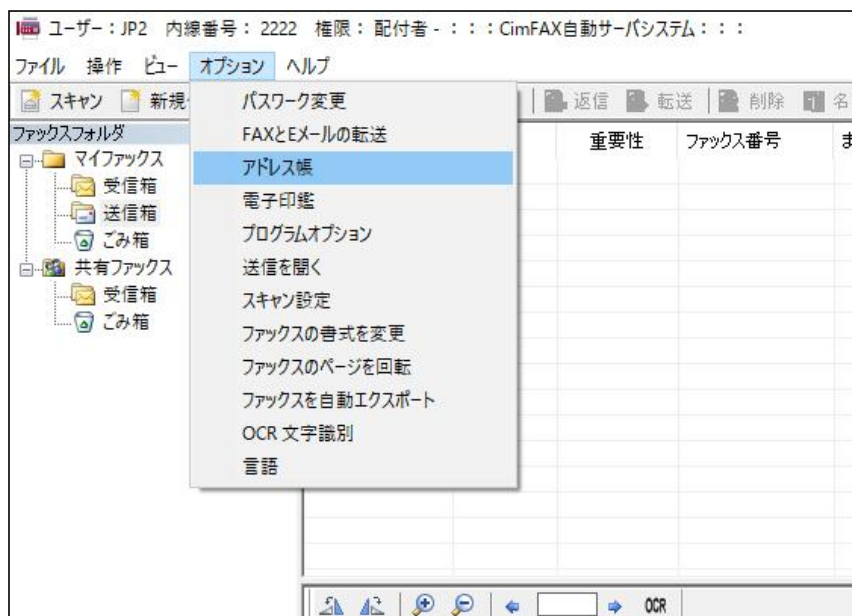
作り方：

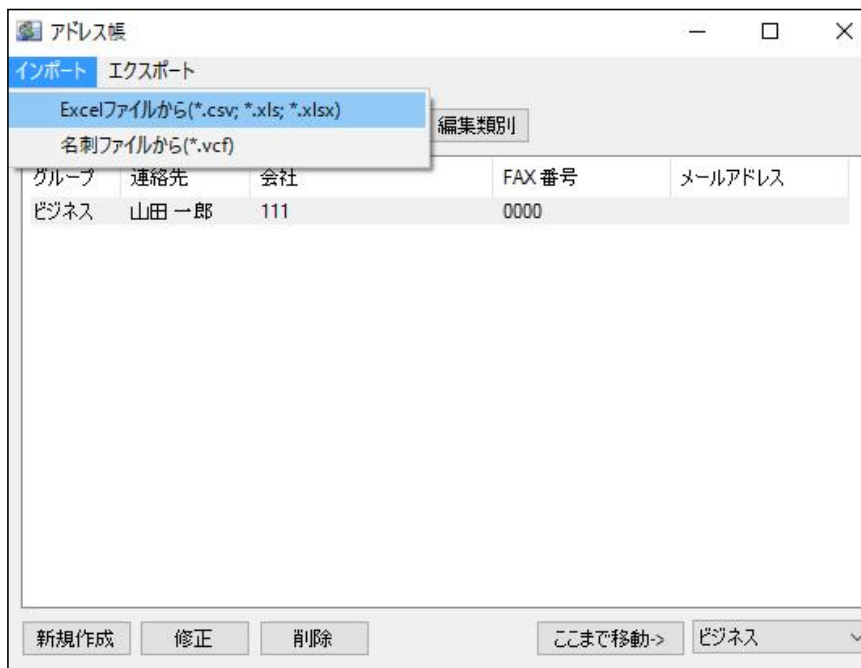
アドレス帳をインポート/エクスポートする手順です、事前にエクセルファイルを作ります。



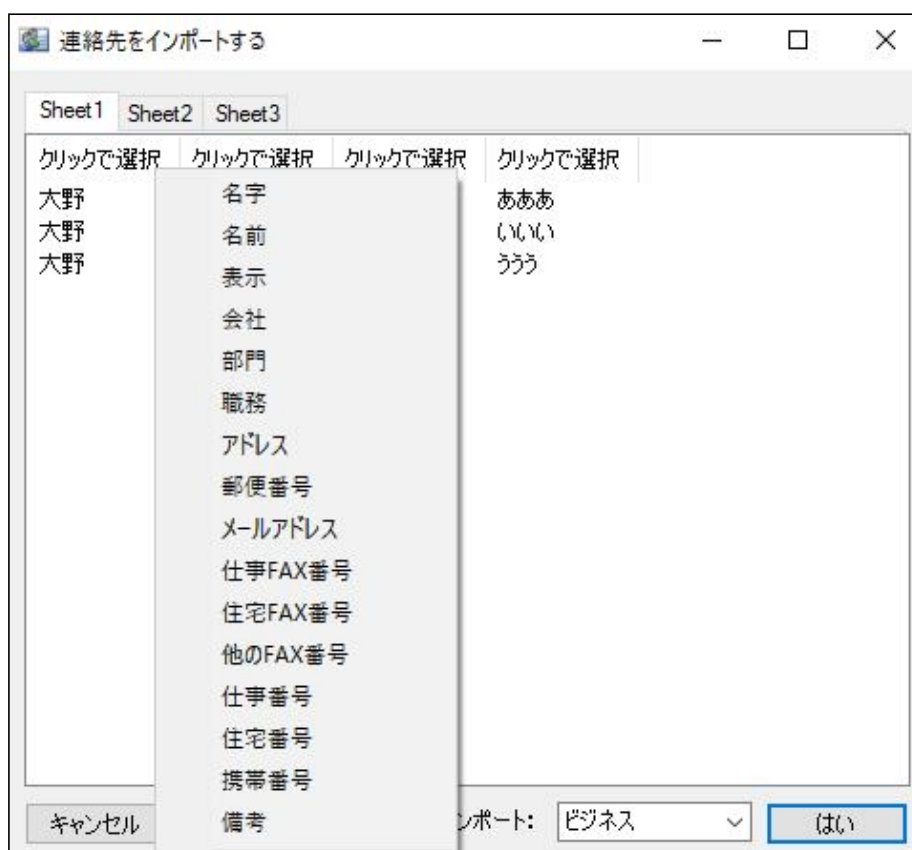
	A	B	C	D	E
1	名字	名前	FAX番号	会社名	
2	大野	一郎	123	あああ	
3	大野	二郎	234	いいい	
4	大野	三郎	456	ううう	
5					
6					
7					
8					

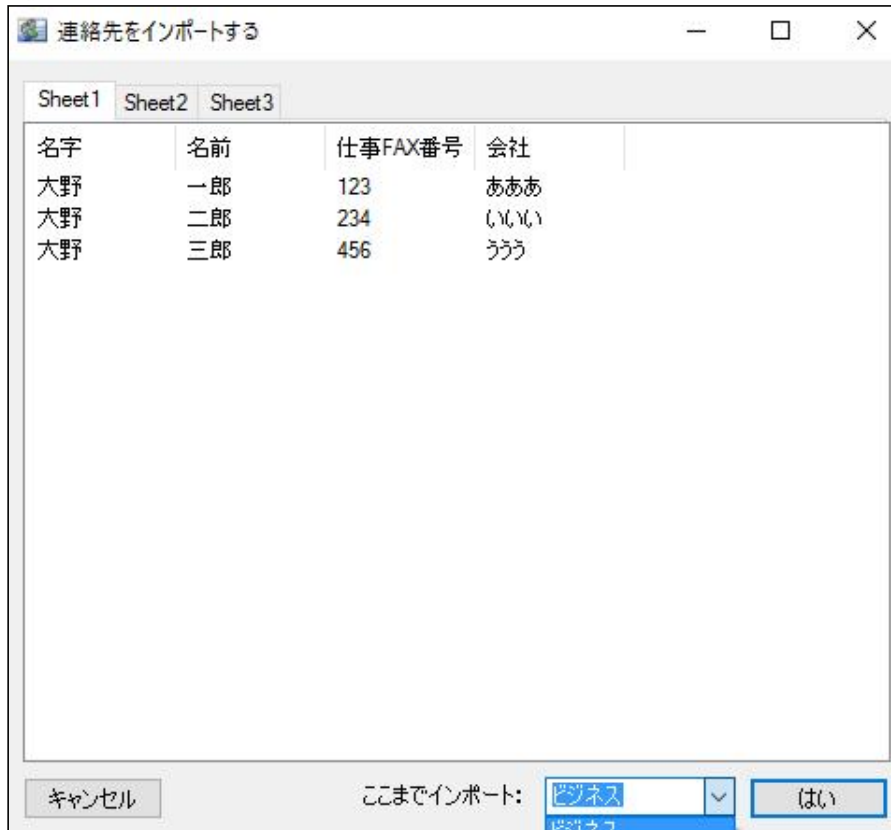
「オプション」の「アドレス帳」を開きます。インポートをクリックします。





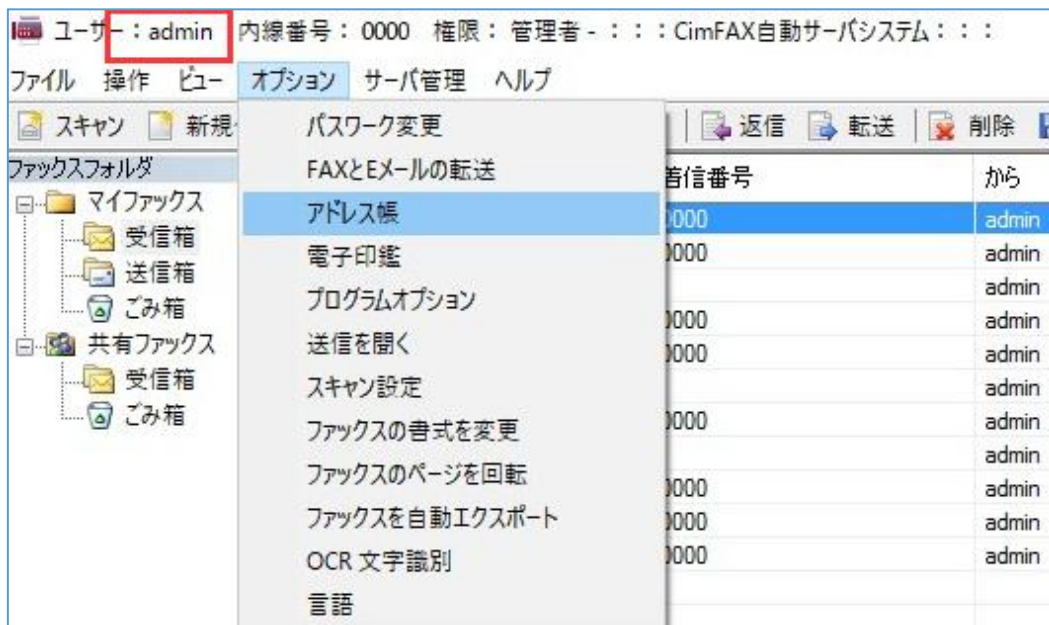
「クリック選択」で必要な情報を選択して、最後にグループを選択して完成します。





**共有する方法：**

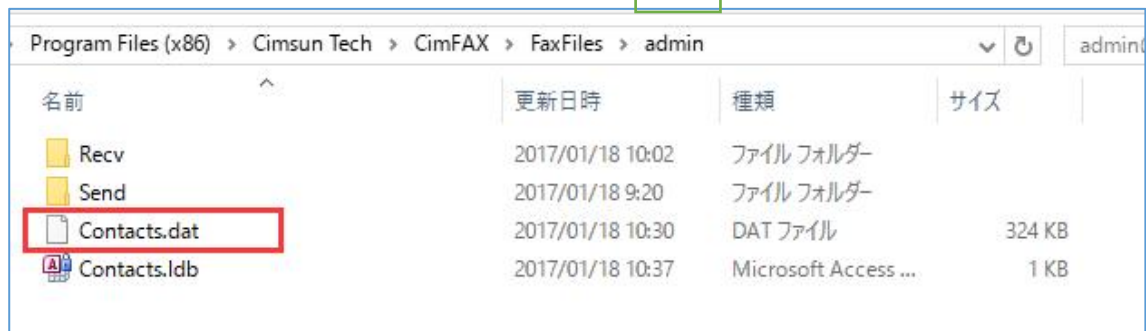
第一歩は Admin アカウントで、アドレス帳を作ります。





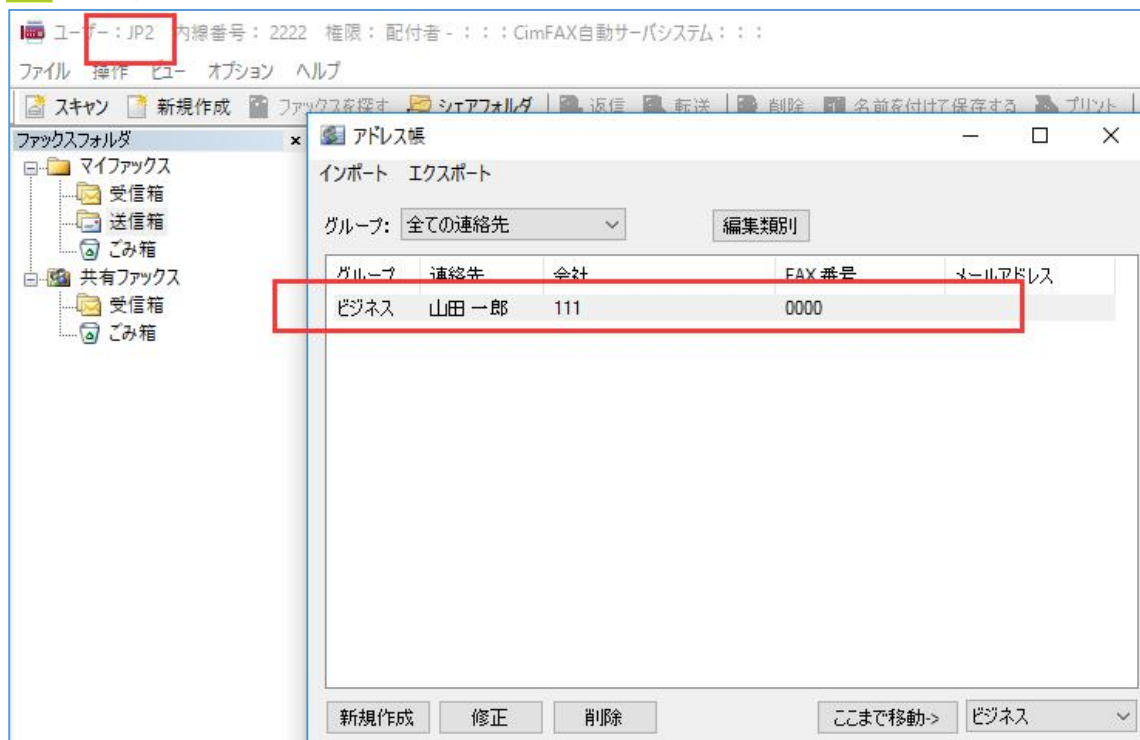
次に CimFAX のファイルの場所を開きます。「FaxFiles」>「admin」、ファイルの

「Contacts.dat」はアドレス帳です。



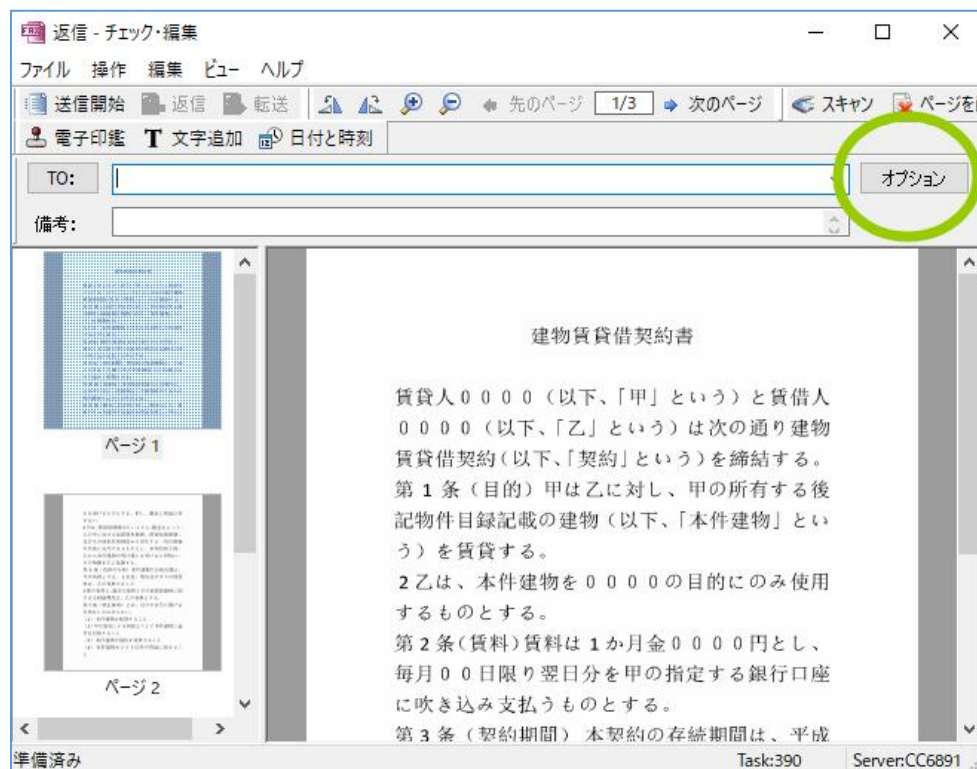
「Contacts.dat」をコピーして、他のユーザーの同じ位置に貼り付けます。これで、他のユーザーがアドレス帳を共有することができます。





### 3.3 指定される時間帯に送信する

送信画面に、「オプション」をクリックします。





ファックスオプション

ファックスオプション

重要度: 普通 解像度: 緻密(より遅い)

自動ヘッダー禁止  自動接頭ナンバー禁止

電子印鑑

送信前電子印鑑を請求します。

送信設定

この時間前送信できず 2017/11/16 14:40:26

時間切れとキャンセル 2017/11/17 14:40:26

送信許可時間帯 9:00:00 から 18:00:00

リトライ設定

最大ダイヤル回数: 3 再送信の間隔(分): 1

デフォルトとして保存します。 はい キャンセル

### 3.4 初期化に戻す

- 1) 電源プラグを一度抜き取って、また差し込みます。この時、サーバは2秒くらい「ピー」というブザー音が鳴ります。
- 2) この音が消える前に（また消えた後すぐ）、つまようじのような細長い物で、10-20秒くらいサーバの背面のRST穴を押し、再度「ピー」とブザーの長音が鳴るまで押し続けます。この音が鳴っている間にRSTスイッチを放します。（鳴り終わってからRSTスイッチを放してもサーバは初期化されません。）
- 3) FAXサーバの再起動を待ちます。再起動するとREADY LAMPが点灯します。

## 2. FAX サーバの IP アドレス変更

1) 初期化したことで、CimFAX の IP アドレス (192.168.1.2) 、アカウント (admin) 、パスワード (admin) となります。

2) ログインできない場合、IP 修正の手順を参考してください。ログイン後[サーバネットの設定]

で IP を修正します。お使いのネット上の他の通信機器と重ならないように設定します。

サーバネットの設定

MAC アドレス: 00-E0-91-01-10-6F

手動的に設定する  自動的にDHCPからもらう

メインIP アドレス: 192 . 168 . 1 . 200

IP アドレス 2: 0 . 0 . 0 . 0

IP アドレス 3: 0 . 0 . 0 . 0

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 1 . 1

DNS: 192 . 168 . 1 . 1

インターネット状態: 接続済

サーバにアクセスできない場合は変更を取り消す

適用 閉じる

## 3. 初期設定の確認

- 1) FAX サーバの電源プラグを抜き取って、一分後また差し込みます。
- 2) 設定した IP アドレスでサーバにログインできるかを確認してください。
- 3) 新しい IP アドレスでログインできない場合は、手順の 1 からやり直してください。

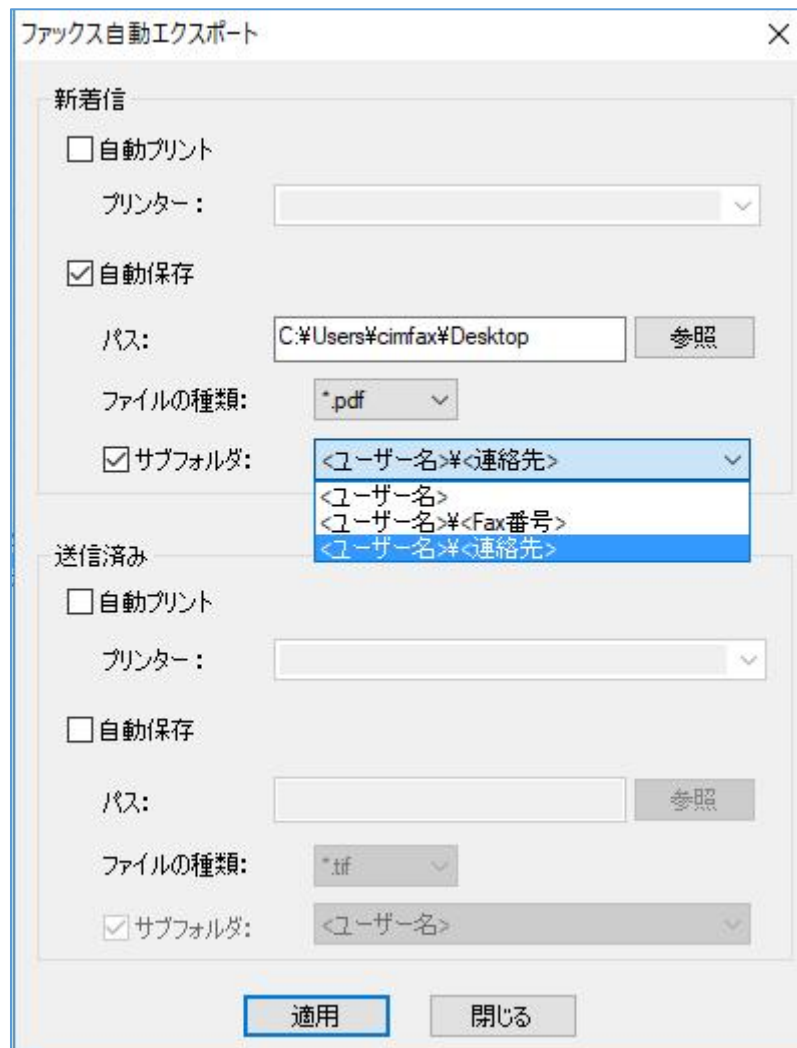
注意：



この方法で、初期設定した場合、これまでに FAX 送信したファイルやその履歴などは、削除されることなく保存されています。

### 3.5 共有フォルダーに自動的に保存

クライアントの[オプション]>「自動エクスポート」



「自動エクスポートのオプション」：（共有フォルダーまで保存できる）

※パス：設定した後、ファックスは自動的にそのパスまで保存します。

※ファイルの種類：TIFF と PDF 二つがあります。

※サブフォルダ：

<ユーザー名>：直接エクスポートされます。

<ユーザー名> ¥ <Fax 番号> : 着信番号より振り分けることができます。

<ユーザー名> ¥ <連絡先> : アドレス帳に記録した連絡先より振り分けることができます。

**ご注意：電話番号表示機能（ナンバーディスプレイ機能）が必要です。**

## 3.6 外出先で FAX 受送信

CD-ROM の「外出先で FAX 受送信の設定について」を開いて、設定方法通りに設定します。



CD-ROM がなかった場合は、CimFAX 公式サイト ([https://www.cimfax.com/service\\_ts.asp](https://www.cimfax.com/service_ts.asp)) で設

定方法をダウンロードして、確認することもできます。

### 外出先でFAX受送信の設定について (リモートアクセス・遠隔操作)

説明：リモートアクセス（遠隔操作）するには、LANルーターの設定画面でDMZ設定を完了する必要がある場合がございます。

以下はDMZ/NAT設定取扱説明書となります。

[DMZ/NAT設定取扱説明書.pdf](#)

ご質問がございましたら、[jp@cimfax.com](mailto:jp@cimfax.com)にお問い合わせください。

### 3.7 音声案内

クライアントの[サーバ管理]>[FAXの詳細設定]をクリックしてください。

FAXの詳細設定

ライン1

会社名:  (FAXのヘッダーに表示され、略称してください。)

ファックス番号:  CSID:

送信速度:  受信速度:

送信時エラー訂正モード(ECM)  受信時エラー訂正モード(ECM)

送信時音声案内を無効にする  受信時音声案内を無効にする

このラインを送信無効にする (受けるFAXを共有ボックスに保存する)

ベルは  回鳴ると、本機が応答する

このラインのビープ音を無効にする  内線番号は正しくない場合にも受信する

受信してからラインをリセットする  発信音は検出されない場合にも受信する

内線番号が正しい場合には受信する

電話転送コード:  PHONEポートに接続された電話で、「電話転送コード+追加番号」を押すと、着信はFAXサーバに転送して、サーバは受信を開始します。

FAXのヘッダー書式:

ダイヤル設定

IPダイヤルコード  ローカルエリアコード

外線発信番号:  内線発信番号:

オリジナル音声案内をしたい時、是非、弊社と連絡してください。

メールアドレス : jp@cimfax.com

### 3.8 バインディング (Windows のみに対応しております)

クライアントの[サーバ管理]>[サーババインディング]をクリックしてください。「サーバ管理」メニューは管理者だけが確認することができます。

#### 機能説明

複数のサーバをバインディングした後、任意のサーバのユーザーアカウント情報を変更すると、他のサーバは自動的に同期されていきます。また、バインディング機能は便利で、任意のサーバにログオンし、バインディングした他のサーバの受信FAXを確認することができます。FAXを送信する時、空いている線路が優先的に使用されます。

**操作説明：**

まず、一台のサーバにログインして、[サーバのIP]でもう一台のサーバのIPアドレスを入力して、[バインディング]をクリックします。追加後、「サーバのバインディングを設定しました」というメッセージが表示されます。設定成功同時に、もう一台サーバのIPを確認することができます。

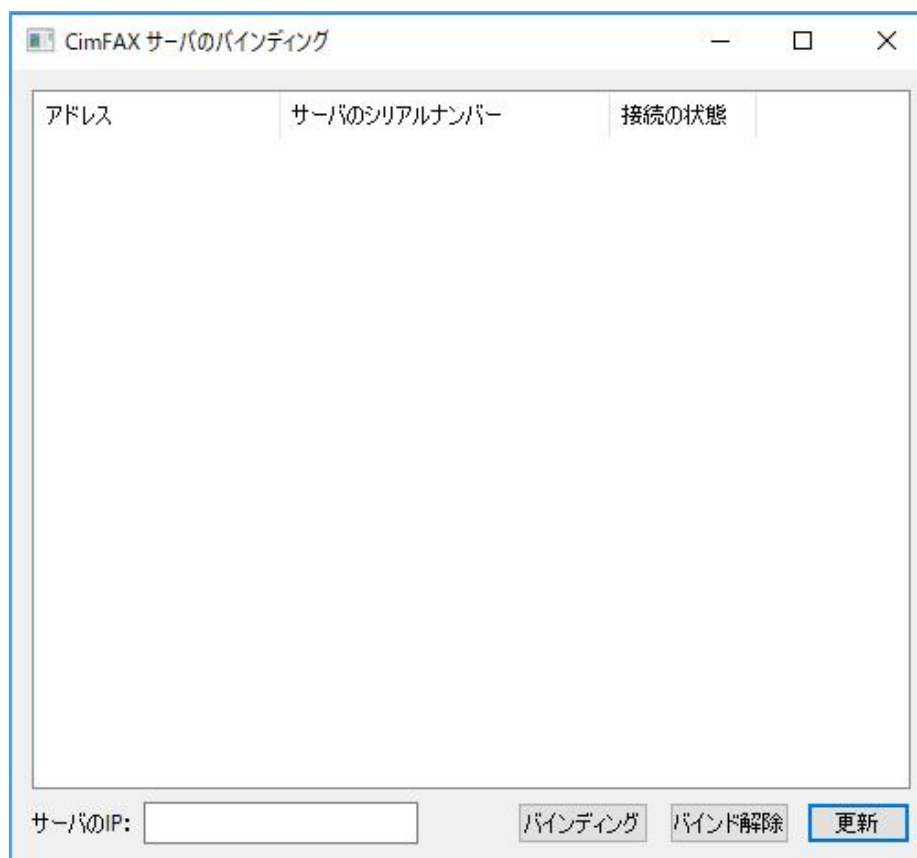
そして、もう一台バインディングしたサーバにログオンして、上記の操作を繰り返してください。これで、二つのサーバがお互いにバインディングしている状態となります。

バインディングを解除したい場合、まずは一つのサーバにログオンしてください。

サーババインディング窓口で、解除したいサーバを選択して、「バインド解除」をクリックしてください。

もう一つのサーバは同じ操作です。

バインディングを解除した場合、「サーバのバインディングを設定しました」というメッセージが表示されます。





### 3.9 FAX履歴

クライアントの「サーバ管理」>「受送信歴史」を選択してください。[サーバ管理]メニューは管理者だけが確認することができます。

ファックス受送信歴史に、「ユーザー名」、「ファックス番号」、「時間範囲」によるファックスの受送信の歴史が検索できます。ファックスの受信者、送信者、ファックス番号、受送信時間、どのくらい時間がかかるか、状態、備考、スピードなど、一目瞭然です。

「内容チェック」はそのファックスの内容を確認できます。

「削除」はサーバから徹底的そのファックスを削除できます。

「エクスポート」はファックスを他の形式で保存できます。



方向	受信者	送信者	ファックス番号	時間	何秒かかる	状態	備考
----	-----	-----	---------	----	-------	----	----

### 3.10 FAXの内線番号

CimFAX ユーザーアカウント

admin  
ios  
test3  
android  
mac  
aaa

ユーザー名: admin  
パスワード: ●●●●●●  
内線番号: 0000

ユーザー権限

管理者  分配者  送信する  受信する  
 リモートアクセス  FAXをメールアドレスに転送する

FAXをメールアドレスに転送するオプション

転送設定: いつも転送する  
受信メールアドレス:  
SMTP設定:  共有SMTP  個人SMTP  
SMTPサーバ: smtp.exmail.qq.com  
SMTPアカウント: 3421@cimfax.com  
SMTPパスワード: ●●●●●●  
送信メールアドレス: 3421@cimfax.com

ユーザー追加 ユーザー削除 適用

CimFAX の内線番号は実際に使う電話の内線番号と関係がありません。

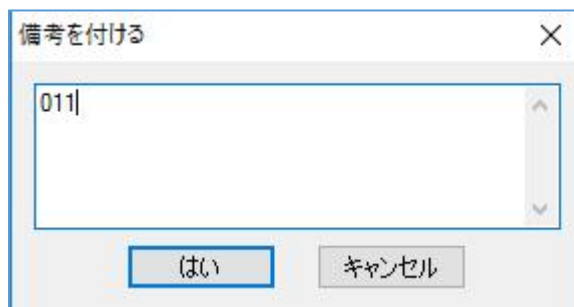
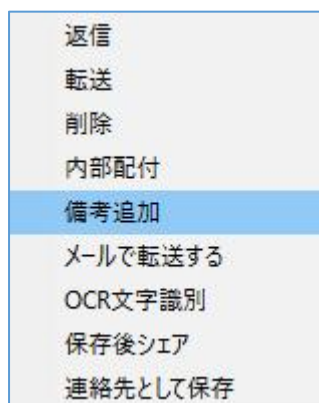
ですから、一部門に一つの内線番号を配置することもできます。配置数はユーザー数次第です。

また、admin の内線番号は基準です。他のユーザーの内線番号の桁数は必ず admin と同じ桁数にして  
ください。

### 3.11 FAXに備考

ファックスを右クリックして、「備考追加」を選んでください。

内容を編集した後、「はい」をクリックしてください。ファックスリストで、備考内容を確認することができます。



状態	着信番号	から	ページ数	受信時間	備考	サーバ
未開封	075589602916	TLG	1	2016/08/17 11:11:50		37BC6B30
開封済み	075589602916	TLG	1	2016/08/17 11:09:17	011	37BC6B30
未開封	07367127409		1	2016/08/17 10:59:38		37BC6B30

## 3.12 FAXの解像度

「チェック・編集」の「オプション」で設定できるパラメータは下記通り：

ファックスオプション

重要度: 普通      解像度: 普通(より速い)

自動ヘッダー禁止       自動接頭ナンバー禁止

電子印鑑

送信前電子印鑑を請求します。

送信設定

この時間前送信できず      2016/07/29      17:10:07

時間切れとキャンセル      2016/07/30      17:10:07

送信許可時間帯      9:00:00      から      18:00:00

リトライ設定

最大ダイヤル回数: 1      再送信の間隔: 1

デフォルトとして保存します。      はい      キャンセル

「重要度」：複数のファックス任務が存在する時、ランク付けに処理します。

「解像度」：解像度が高ければ高いほど送信時間が長くなります。

「自動ヘッダー禁止」：サーバはファックスのファイルにヘッダーを付けることを禁止します。

「自動接頭ナンバー禁止」：サーバー自動のIPダイヤル、外線ダイヤルなどを使用しません。

「送信設定」：ファックスは指定済の時間から送信します。

「時間切れとキャンセル」：送信後、指定時間からの送信をキャンセルします。最大ダイヤル回数と関係がありません。

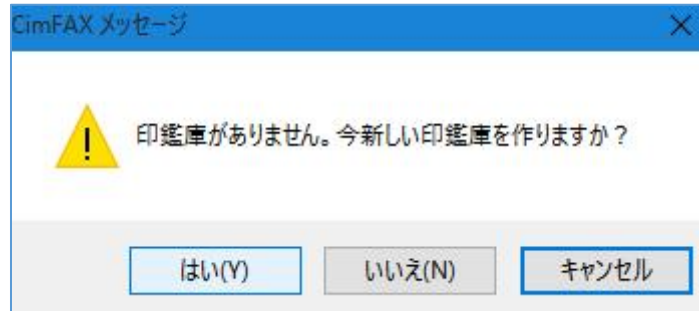
「送信許可時間帯」：ファックス任務は毎日指定される時間帯にしか送信されません。

「最大ダイヤル回数」：ファックスが送信不能時、再送信の回数です。

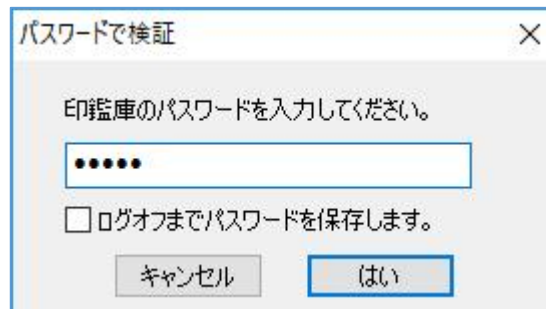
「再送信の間隔」：再送信の間隔時間です。

### 3.13 電子印鑑

クライアントの[オプション]>「電子印鑑庫」を選択してください。初めて電子印鑑を利用される方は下記のメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてください。



電子印鑑庫パスワードを入力してください。初期パスワードはadminです。

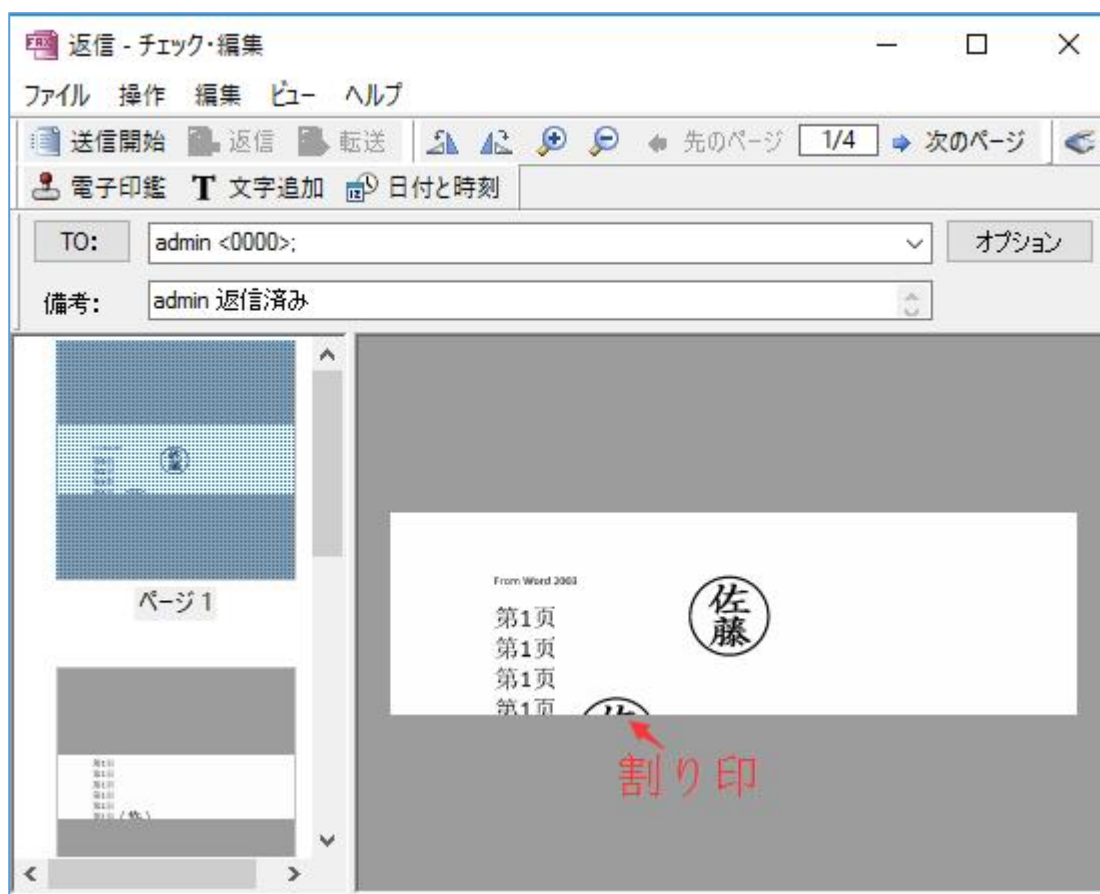


下記方法で新しい印鑑庫を作ることができます。

- 「ファイルからインポート」をクリックで、画像ファイル作成を選択します。画像ファイルはホワイトバックが必要です。
- スキャナを使用して作ります。スキャナはパソコンと繋がっていることを確認してください。白紙にてサイン又は捺印でスキャンしてください。スキャン後、必要な部分を選択します。 選択後、「はい」をクリックしてください。



印鑑を選択後、ファックス編集画面に戻ってください。カーソルは印鑑の形になり、適度なところで左クリックして完成します。割り印もできます。



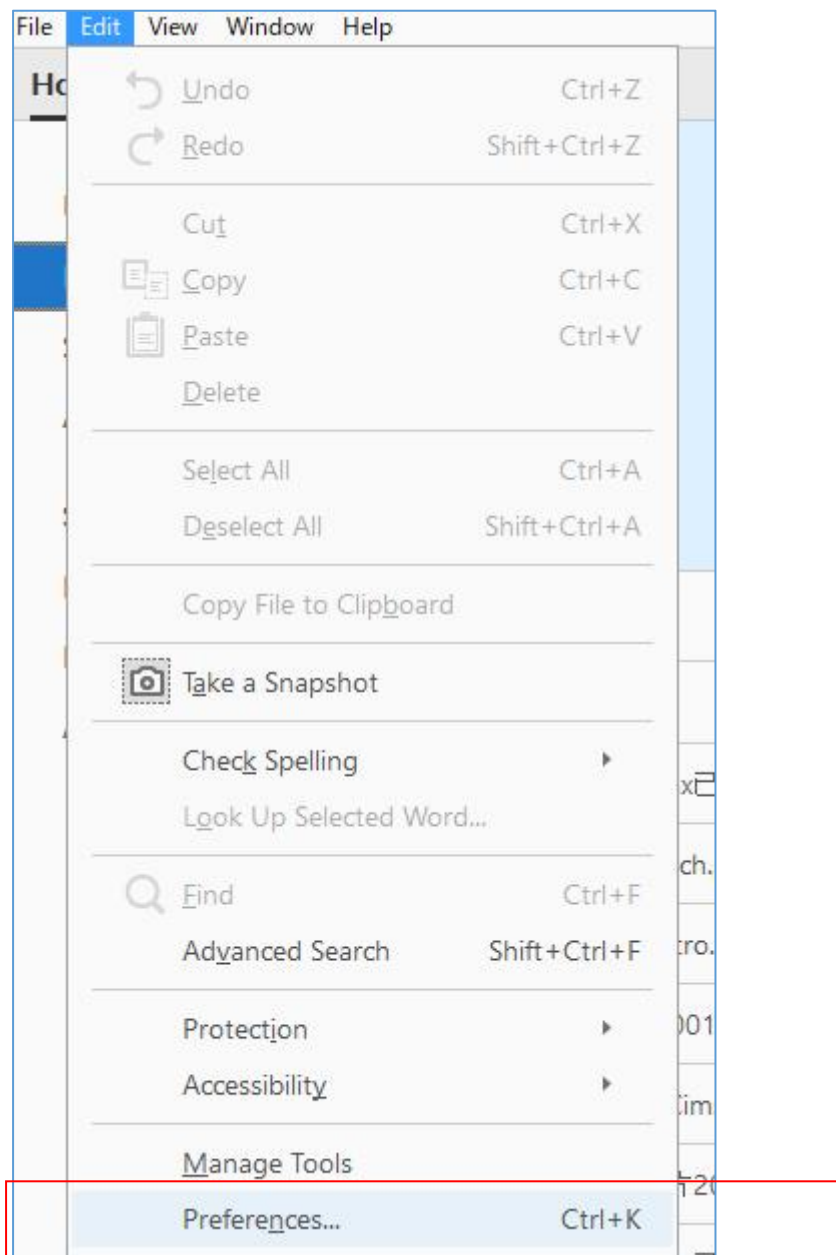
### 3.14 PDF だけ FAX できない解決案

(英語版の資料で、ご理解の程よろしくお願いたします。)

最新版の PDF は時々 FAX することができません。

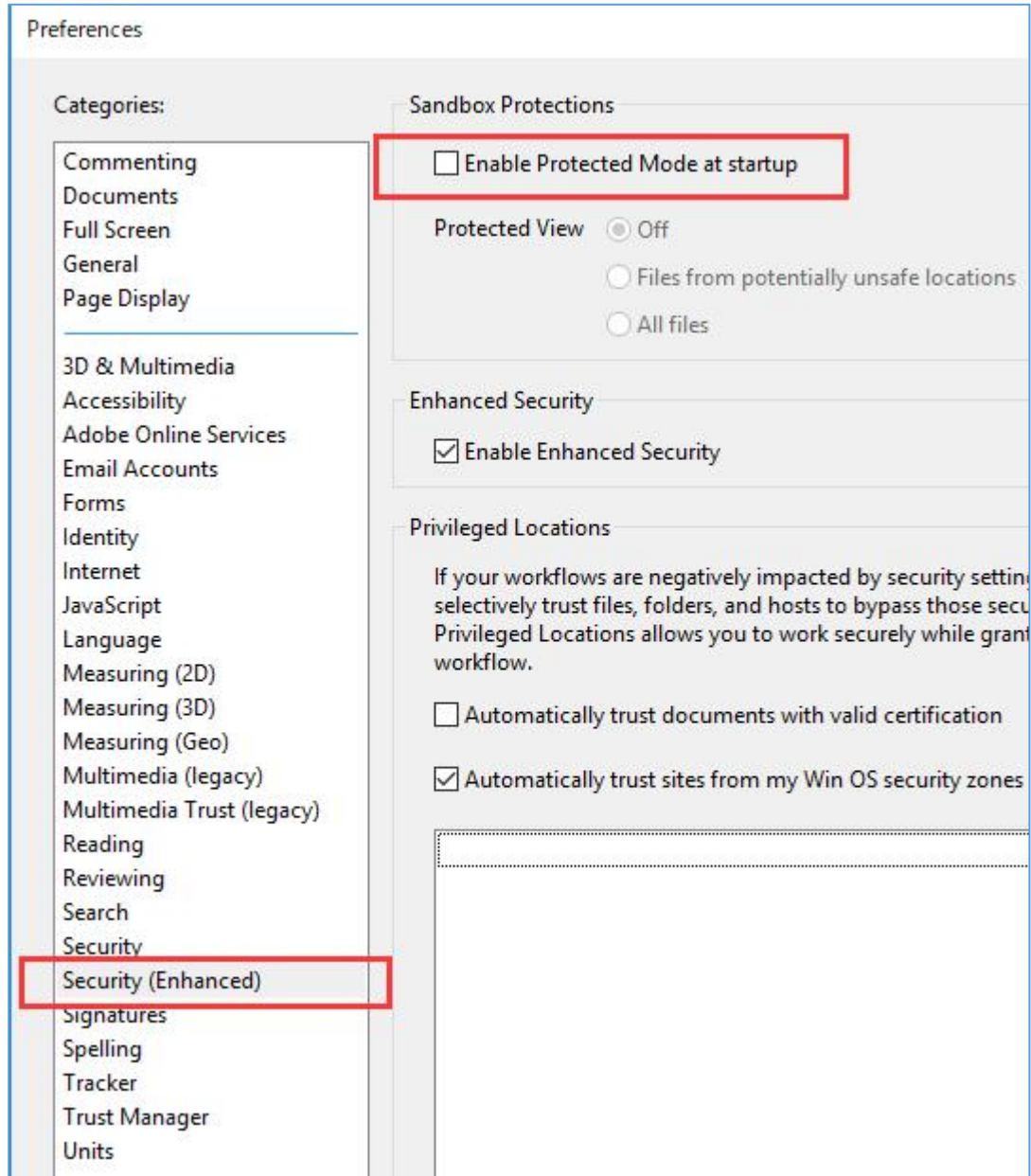
まず Adobe Acrobat Reader DC(From Acrobat Reader DC)を開く。

(“select “Edit” > “Preferences”).



(Select “Security (Enhanced)” on the left pane).

(Uncheck the “Enable Protected Mode at startup” box).



(Select “Yes” to the prompt about being sure about making this change).

申し訳ありません、日本語に訳してみると知識不足で何かわからないんですが、“Enable Protected

Mode at startup”の空欄にチェックを入れないでください。



### 3.15 「FAXの詳細設定」について

クライアントの[サーバ管理]>[FAXの詳細設定]を選択してください。[サーバ管理]メニューは管理者だけが確認することができます。

図：単線版 FAX の詳細設定

#### お買い上げのサーバは単線の場合

- 「会社名」で御社の社名の略称を入力してください。会社名はヘッダー書式によって自動的に FAX のヘッダーに表示されます。

- 「ファックス番号」でサーバに差し込んだ電話線のナンバーを入力してください。FAX ナンバーはヘッダー書式によって自動的に FAX のヘッダーに表示されます。
- 「CSID」で御社の英語社名を入力してください。略称してください。CSID は受信者の FAX 機のディスプレイに表示されます。
- 「送信速度」と「受信速度」を指定し、サーバの送受信速度が制限できます。推薦する速度は出荷時に設定済です。電話回線の状態がよくない時、送受信がうまくいかないと、低速を選択してください。
- 「エラー訂正モード (ECM)」にチェックマークを付けると、サーバは FAX のページデータのエラーを検出して訂正します。回線状態が悪い時に内容が破損する恐れがありますので、ECM を使用してください。個別な FAX 機は ECM モードの互換性が低く、回線状態が正常であれば ECM を使用しないでください。
- 「送信時音声案内を無効にする」は FAX を送信する時、受信側は「こちらは CimFAX 自動 FAX サーバシステムでございます、ご信号を出して受信してください。」という音声案内が聞こえます。この項目にチェックマークを付けると、音声案内を無効にすることができます。デフォルトの設定はチェックマークを付けている状態です。
- 「受信時音声案内無効にする」は FAX を受信する時、送信側は「こちらは CimFAX 自動 FAX サーバシステムでございます。ご希望の内線番号を押してください。或いは直接 FAX ボタンを押してください。」という音声案内が聞こえます。この項目のチェックマークを付けると、音声案内を無効にします。デフォルトの設定はチェックマークを付けている状態です。
- 「このラインは送信を無効にする」のチェックマークを付けると、このラインの送信機能は利用できません。

- 「ベルは ( ) 回鳴ると、本機が応答する」の値を指定してください。お勧めの値は2です。手動応答を使用する場合は2以上の値に設定してください。
- 「このラインのビープ音を無効にする」のチェックマークを付けると、電話線が正しく接続されない場合はサーバが三秒ごとに短音一回を発する機能は無効になります。サーバ故障の原因を取り除くために、チェックマークをつけないでください。
- 「受信してからラインをリセットする」のチェックマークを付けると、電話交換器の故障でFAXを受信してからまだ通話中を示す「ツー、ツー」という音がすることを防止します。
- 「内線番号が正しい場合には受信する」のチェックマークを付けると、送信側は正しい内線番号を入力しなければならない。入力しない或いは入力した内線番号が正しくない場合、送信側は「番号は正しくありません。改めてご入力ください」というメッセージが聞こえ、三回入力しない或いは入力間違いをすると、送信側は「番号は正しくありません。後ほど再ダイヤルしてください」というメッセージが聞こえます。
- 「FAXのヘッダー書式」でFAXのヘッダー書式を設定すると、送信時サーバは書式によってFAXのヘッダーを加えます。

**デフォルトの書式は：**

FROM: &C &F-&E &N TO: &P &R|&Y-&M-&D &H:&m:&S (&G) 第&p 頁 共&t 頁

FROM: 先尚科技 020-83598617-0000 admin	TO: 83588413	2016-10-9 15:51:2 (GMT+08:00) 第1頁 共1頁
------------------------------------	--------------	---------------------------------------

**キーワード説明：**

&C 会社名                      &F FAX ナンバー                      &E FAX の内線番号                      &N ユーザー名

&P 受信側の FAX ナンバー                      &R 受信側の名前                      |セパレータ；

&Y 年    &M 月    &D 日    &H 時    &m 分    &S 秒    &G サーバの時刻    第&p 頁 共&t 頁

- 「IP ダイヤルコード」を設定すると、番号の前に自動的に入力した値を加えます。この機能が不要としない場合は設定しなくてもいいです。
- 「ローカルエリアコード」で市外局番を設定してください。
- 「電話転送コード」を設定すると、FAXを受信する場合は、電話機で設定した電話転送コードのボタンを押して、通話をFAXに切り替えて受信を開始します。（詳しくは4.2 手動受信モードをご参照ください。）

図：双線版のFAXの詳細設定

双線版の FAX サーバを購入した場合は、「送信優先順位」を設定しなければなりません。この項目を設定すると、送信時最小値のラインが優先使用される。パラメーターを設定してから、[適用]ボタンをクリックし、「サーバのファックスを設定できました」というメッセージが見られます。

## 4、ファックスモード

本節ではファックスの二つのモードについて説明致します。

---

### 4.1 自動受信モード

自動音声案内モードではファックスの無人自動受信をすることができます。「ベルは ( ) 回鳴ると、本機が応答する」の値は、2 又は 2 以下を設定してください。新着信の FAX を受信する際に、ベルが 1~2 回鳴り、CimFAX は自動的に「こちらは CimFAX 自動 FAX サーバシステムでございます。ご信号を出して受信してください。」という録音を流れます。

この際に FAX 送信先が内線番号を入力せずに、直接送信ボタンを押すと、CimFAX が自動的に受信して「共有ファックス箱」に送ります。

FAX 送信先は送信時内線番号を入力すると、CimFAX は入力された内線番号に該当するユーザーの受信箱に送ります。他のユーザー又は管理者はそのファックスを確認することができません。

**注意：**CimFAX の内線番号とユーザー名は管理者で設定することができます。ご使用中の CimFAX の内線番号と電話の内線番号が不一致の場合は、お間違えないようお気を付けてください。

## 4.2 手動受信モード（電話機との併用）

電話機と併用する場合、手動応答モードに変更する必要があります。「ベルは（ ）回鳴ると、本機が応答する」の値は2以上を設定して、そして CimFAX の[PHONE]ポートに電話機を接続してください。

新着信の FAX を受信する際に、電話機からベルが鳴り、受話器をとってから電話機で「電話転送コード」+「CimFAXの内線番号」を押すことで、新着信の FAX は入力された内線番号に該当するユーザーの受信箱に送ります。

具体的な設定方法は CD-ROM の「電話機との併用について」を開いて、設定方法通りに設定します。



CD-ROM がなかった場合は、CimFAX 公式サイト ([https://www.cimfax.com/service\\_ts.asp](https://www.cimfax.com/service_ts.asp)) で設定方法をダウンロードして、確認することもできます。

「PHONE」に電話機を接続して、電話機との併用について

電話機と併用する方法 - Windows.pdf

電話機と併用する方法 - Mac.pdf

以上は対処法でございます。  
ご質問がございましたら、[jp@cimfax.com](mailto:jp@cimfax.com)にお問い合わせください。

※どんな不明点でも遠慮なく、メールお問い合わせをお願い致します。

公式サイトに CimFAX に関するよくある質問のコーナーがあります。

CimFAX に関するよくある質問のコーナー: [https://www.cimfax.com/service\\_ts.asp](https://www.cimfax.com/service_ts.asp)